

ディスコン通信・彩の国

埼玉県ディスコン協会 会報

創刊号

2018年（平成30年）1月発行

創刊号発行のご挨拶

埼玉県ディスコン協会 会長 山田 武



埼玉県ディスコン協会は2007年（平成19年）10月1日に設立されました。「十年ひと昔」と申しますが、満10年を経過したことを機に、発足以来の歴史を振り返るとともに、今後の発展、組織の強化及び支部間の情報共有と交流促進に資することを目的として会報「ディスコン通信・彩の国」を発行することにいたしました。今後は年2回の発行を予定しています。

少子高齢化が急速に進み、また、人間関係が希薄化しつつある昨今、ディスコンは老若男女、だれでも、いつでも、どこでも手軽にできるニュースポーツとして着目されて来ています。近年、行政機関のスポーツ・レクリエーション・生涯学習・高齢者福祉等の担当者からのオファーや当協会のホームページ閲覧者も増えてきました。また、ディスコンを体験した方々からの口伝え等により、お陰様で埼玉県内のディスコン愛好者は、徐々にではありますが着実に増加しつつあります。

この10年間、私はディスコンを通じて多くの方々と知り合い、かつ親しくお付き合いさせて頂いておりますが、私にとってディスコンは、重要な生きがいのひとつになっています。これからも、この会報「ディスコン通信・彩の国」発刊が、当会の更なる発展と併せ、より多くの方々との交流につながることを期待しております。

祝 辞

特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会 会長 秋谷 昭治



埼玉県ディスコン協会が記念すべき創立10周年を迎えられたこと、10周年を機に「ディスコン通信・彩の国」を創刊されますことを心よりお祝い申し上げます。

埼玉県ディスコン協会は平成19年の結成以来、ディスコンの普及・発展を遂げられており、今日に至るまで皆様の御尽力に深く敬意を表する次第です。

近年、余暇活動と相まって生涯スポーツのなかでの健康・体力づくりに寄せる県民の関心と欲求は高いものがあります。

複雑に多種多様化する現代社会のなかで、健康で安らぎのある生活を送るうえで、レクリエーション活動の果たす役割は大きいものがあります。

今後も、身近な活動としてディスコンの普及・発展を大いに期待いたしております。

終わりに、埼玉県ディスコン協会の限りない御発展と会員の皆様方のますますの御健勝、御活躍を心から祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

埼玉県ディスコン協会 “10年の歩み”

埼玉県ディスコン協会 事務局長 松本 元伸

当協会発足の母体は、健康生きがいつくりアドバイザー（一般社団法人健康・生きがい開発財団認定）の所沢地域組織「ときめきらいふクラブ（現 NPO 法人ときめきライフ埼玉＝以下前掲という）」です。2002年9月、新潟県で開催された健康生きがいつくりアドバイザー全国大会で、徳島地域からディスコンの紹介があり、ときめきらいふクラブ（前掲）のメンバーがディスコン用具を購入し、所沢でのアドバイザー活動の一環として、ディスコンを取り入れたのが当協会発足のキッカケとなりました。

以下に当協会の沿革（主な年次別）を列記します。

- 2007年10月 埼玉県ディスコン協会を設立（会長：磯 竹栄、本部所在地：所沢市）
- 2010年10月 さいたま支部発足（発足後7年3か月）
- 2011年5月 役員改選（会長：山田 武、副会長兼所沢支部長：磯 竹栄）会員数：53名
- 2011年5月 所沢支部発足（発足後6年8か月）
- 2011年5月 ディスコン開催情報の発行開始、以後毎月発行し会員に配布
- 2011年10月 横瀬支部発足（発足後6年3か月）
- 2012年5月 入間支部発足（発足後5年8か月）この時点での会員数：100名
- 2012年6月 全国ディスコン大会 in 奈良いかるがに2チーム参加、横瀬チームが4位入賞
- 2013年9月 横瀬でディスコン合宿（30名参加、旧芦ヶ久保小学校で大会、両神荘に宿泊）
- 2014年4月 川口支部発足（発足後3年9か月）
- 2014年5月 ホームページ開設
- 2014年11月 初めての親睦バス旅行（四万温泉ゆずりは荘、23名参加）、以後毎年実施
- 2015年4月 埼玉県レクリエーション協会に加入、この時点の会員数：134名
- 2015年9月 長瀬支部発足（発足後2年4か月）
- 2015年11月 埼玉県スポーツリーダーバンクに9名登録
- 2016年5月 会則改定により会員の定義を変更（インストラクターのみ⇒一般会員を含む）
- 2018年1月 会報「ディスコン通信・彩の国」創刊号発行

次に、当協会の活動目的（埼玉県内におけるディスコンの普及振興を図り、健康体力づくり、地域コミュニティづくりに貢献する）に基づく当協会の主な現況についてまとめてみました。

1. 支部組織及び会員数（2017年12月現在）

さいたま（50名）、所沢（61名）、横瀬（24名）、入間（10名）、川口（17名）、長瀬（28名）
以上6支部で合計会員数190名（内、インストラクター会員111名）

2. 埼玉県ディスコン・オープン大会 10年間の記録

回数	開催日	会場	参加チーム	優勝	準優勝	第3位
1	2008.10.5	所沢市民体育館	12	NT ソフト	所沢中新井	
2	2009.10.4	所沢市民体育館	16			
3	2010.10.3	所沢市民体育館	10	所沢秋場	NT ソフト	所沢 NT
4	2011.10.10	所沢市民体育館	16	所沢ふれあい	川口	横瀬支部
5	2012.9.1	所沢市民体育館	16	所沢ふれあい	卓球コンドル	生きがい大学
6	2013.10.17	所沢市民体育館	16	横瀬支部	生きがい大学	横瀬支部
7	2014.10.16	所沢市民体育館	20	横瀬支部	横瀬支部	川口支部
8	2015.11.3	所沢市民体育館	32	横瀬支部	横瀬支部	所沢中新井
9	2016.11.3	スポーツ総合センター	32	横瀬支部	川口支部	さいたま支部
10	2017.10.29	スポーツ総合センター	32	さいたま支部	さいたま支部	長瀬支部

3. インストラクター認定研修会の年度別開催回数と現人数

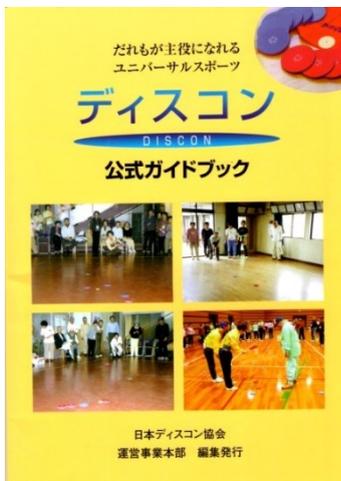
年度	回数	人数	年度	回数	人数	年度	回数	人数
2007	2	9	2011	1	6	2015	3	17
2008	1	5	2012	1	7	2016	2	13
2009	2	12	2013	2	10	2017	2	14
2010	1	4	2014	3	14	合計	20	111

上記以外に、受託活動（小学校・福祉センター等のディスコン体験教室）、行政行事（埼玉県スポーツフェスティバル、各市レクリエーションフェスティバル・人材バンクフェア等）インストラクターの派遣（県レク協のリーダー資格取得研修の講師派遣等）などの要請が当協会及び各支部に数多く寄せられるようになっております。

埼玉県ディスコン協会設立への思い

埼玉県ディスコン協会 副会長 磯 竹栄

2007年10月1日、日本ディスコン協会（本部岡山県）の承認を得て、埼玉県ディスコン協会を設立し、会長に就任しました。設立記念大会を2008年3月22日所沢市新所沢公民館において、所沢市生涯スポーツ振興課長、市レクリエーション協会会長、及び市スポーツ指導者協会会長のご出席を得て行いました。同大会は、協会設立の趣旨を内外に示す、よい機会になりました。



この協会の立ち上げに先立ち、山田武さんと2007年9月大阪で開催された日本ディスコン協会主催のインストラクター養成講座に参加しました。（この時のテキストが写真のディスコン公式ガイドブックです。）

大阪では、「大阪府健康生きがいきづくり協議会（現NPO法人生きがい大阪）」が主体になって、ディスコンの普及振興が行われていました。無料体験教室、研修会、講習会、競技大会等が活発に開催されていました。インストラクター養成講座も年に数回行われていました。午前9時から午後3時（6時間）まで、ルール説明、競技方法の実践、インストラクターの役割、審判の体験、講義「高齢者のスポーツと健康づくり」を履修し、2人とも認定証を取得できました。

当協会は、「ときめきらいふクラブ（前掲）」の創立10周年を機に、同クラブの新規事業（活動）として、簡単なニュースポーツ「ディスコン」を取り入れて、普及振興・底辺拡大を図ることを目的に設立したものです。その活動の展開は、「ときめきらいふクラブ（前掲）」のニュースポーツ事業部に所属するが、独立して活動をすることも出来るようになりました。

当協会では、2007年12月日本ディスコン協会の委託を受けて、第1回インストラクター養成講座（認定：日本ディスコン協会）を所沢市新所沢東公民館にて開催し、受講者は、当会会員を中心に19名が受講し、所定の全教科を修了して認定証を取得しました。

その活動としては、公民館、生涯学習センター、老人施設等で体験教室を開催しました。インストラクター養成講座は、年1～2回開催し、多くの指導者を輩出して、地域に根差した活動を進めてまいりました。2011年5月会長を辞任し（副会長就任）、山田武さんへバトンタッチしました。

その後、活動が急激に進展し、所沢をスタートしたディスコンは、今や埼玉県内のさいたま市、所沢市、横瀬町、入間市、川口市、長瀬町に支部を結成し、更に埼玉県レクリエーション協会に加入しました。

これからも、普及振興、底辺拡大に努め、ディスコンを通して、人とのふれあい、つながりを大切に、愛好者の一人として頑張っていきたいと思っております。

平成29年度（7月～12月）の主な行事特集

第10回埼玉県ディスコン・オープン大会

横瀬支部の連覇ならず、優勝杯はさいたま支部へ

大会スタッフ（得点集計担当） 佐野 正宣

平成29年10月29日（日）上尾スポーツ総合センターアリーナで埼玉県ディスコン・オープン大会が開催されました。この大会は、第30回埼玉県民総合体育大会の一環として位置づけられています。また平成19年10月に設立した当協会においても、創立10周年の節目に当たる記念すべき大会となりました。当日は、県内からの26チームに加え、遠く関西から1チーム、富山から1チーム、都内からは練馬、世田谷から各2チームの合計32チーム、コート数8面、参加人数も大会役員を含めて110名と、節目の大会にふさわしい規模となりました。

大会は午前10時から塩野谷副会長の開会宣言に始まり、山田会長からは大会挨拶・主旨説明を、司会の松本事務局長より大会役員と参加チームの紹介がありました。引き続き前回優勝の横瀬支部Aチームから優勝杯が返還され、横瀬支部の村上尚之選手からの力強い選手宣誓がありました。磯副会長からの競技方法の説明、準備体操の後、競技に入りました。本大会では埼玉県ディスコン協会ルールが採用され、また、主審資格者不在チームへは、各コートに配置された本部担当スタッフが主審を行う体制としました。

昼食を挟んで合計12試合の熱戦が各コート上で展開されました。試合速報は、タイムリーに本部席付近に設置されたスクリーンに表示され、自チームの位置を確認しながら試合が継続されました。熱戦が繰り広げられる会場では、ファインプレーに対して歓声や拍手が起こり、チーム間や地域間の交流も大いに深められました。

各チーム熱戦の結果、さいたま支部がワンツーフイニッシュを遂げられ、更に同支部は参加8チーム中5チームが10位以内に入るなど大活躍を見せました。結成間もない長瀬支部も第3位と健闘されました。昨年まで4連覇を続けてきた横瀬支部チームは、地域行事との関係で主力選手が不参加となったこともあり、最高4位に止まりました。



優勝のさいたま支部 T チーム

競技終了後、山田会長から埼玉県知事名の表彰状と賞品が上位3チームへ、そのほか5位毎の飛び賞とブービー賞

が各々授与されました。また本大会の共催団体NPO法人ときめきライフ埼玉から、初参加の川越チームに対して特別賞が贈られました。最後に抽選により10周年記念賞が10名の方に、参加者全員に10周年記念品が贈られました。審判長を務められた町田副会長から来年の大会での再会を約束して閉会が宣言され、午後4時無事大会を終えました。

なお、大会前夜の28日には会場近くの飲食店で、関西・富山チームと本部役員・地元上尾の方々の参加のもと懇親会が開かれ、ディスコン談義に花を咲かせました。懇親会場の手配等、上尾の皆様には大変お世話になりました。

後日、川口支部から初めて大会に参加した会員からは『ディスコンを始めて日も浅いため、県大会の出場を躊躇していましたが、初心者でも結構楽しめました。練習を積んで次回も参加したい』とのコメントを頂いております。



競技結果

- 優勝** さいたま支部Tチーム（6戦全勝 総得点44点）
準優勝 さいたま支部Dチーム（6戦全勝 総得点41点）
第3位 長瀬支部Cチーム（5勝1敗）

親睦バス旅行・日光霧降と大猷院

幹事 さいたま支部長 金森 クニ子

平成29年9月4日（月）快晴に恵まれ、各支部のディスコン仲間34名を乗せてバスは一路日光へ向かう。車窓から目に映る景色は紅葉にはほど遠かったが、緑濃い山並みを眺める。車中では着々と午後のディスコン親睦大会の準備が始まり、チーム編成のくじ引きに湧き、優勝は我がチームと逸る気持ちを口走ったり、すでに車内は和気藹々に。

予定通りホテルへ到着し、カレーライスで腹ごしらえの後ホテルの体育館に移動し、ディスコン親睦大会に思いっきり戦い興じた。霧降温泉の美肌効果と癒しの湯に身を委ねた後、バイキングのご馳走で夕食を済ませ、親睦旅行のハイライトである宴会場へ。ディスコン大会の成績発表や豪華賞品に盛り上がる。宴の後半、さいたま支部の余興に挑戦していただく。闘志剥き出しで宴もたけなわ！笑い酔いの心地良さに大満足！？

2日目は、徳川家光公の霊廟である国宝大猷院を朝一番で見学（写真）。杉木立の中にひっそりと佇んでいるものの、本殿は金箔に包まれ、豪華絢爛さに目を見張る。僅かな自由時間に二荒山神社、東照宮、輪王寺を個々に参拝、充実した日光山の観光を終えて帰路の途に着いた。



ニュースポーツセミナーin 小鹿野に参加して

埼玉県ディスコン協会 副会長 町田 昇

平成29年8月27日（日）、埼玉県レクリエーション協会北部ブロックのニュースポーツセミナーが小鹿野町立小鹿野小学校体育館で開催されました。当初3種目（ペタンク・西葛ボール・ディスコ

ン)行われる予定でしたが、西葛ボールは取り止め、ペタンクとディスコンの2種目になり、ディスコンは3コートで行うことになりました。

ディスコンは、横瀬支部4名・長瀬支部4名のインストラクターに私を加え合計9名がスタッフとして参加しました。横瀬支部3名には3コートの主審、他の方には副審と得点係をお願いし、体験教室を行ってきました。また、スタッフの他に一般参加者として横瀬・長瀬合わせて14名の方に参加して頂きました。

地元小鹿野町からは役員・グランドゴルフ・その他関係で25名、他の市町村からは、秩父市8名、深谷市6名、上里町3名・本庄市1名、他に吉田地区のターゲットバードゴルフクラブの方10名の参加がありました。

午前9時より開会式があり、県北ブロック会長兼熊谷市レク協会長のあいさつの後、参加人数をペタンクとディスコンの2種目に半分ずつに分けて両方一斉に競技をスタートし、11時30分まで行いました。

ディスコンについては、最初の内は理解が出来ていない様でしたが、5分もすれば慣れて興味を持ち、楽しんでいたように思います。面白いので今後ディスコンをやるには、どうすれば良いのかと質問に来られた方も何人かおりました。やはり、ディスコンには興味をひかれた様です。今後、小鹿野にディスコンクラブを作る様に頑張ります。



『第29回埼玉県レクリエーション大会inみさと』に参加して

川口支部 佐野 正宣



平成29年11月26日(日)『第29回埼玉県レクリエーション大会inみさと』が開催されました。本大会は埼玉県レクリエーション協会などが主催する大会で、県内加盟の67団体が参加しました。本大会へのディスコンの参加は、昨年の深谷大会に引き続き、3回目となりました。

午前中の三郷市文化会館で行われた総合開会式には山田会長など5名が参加し、功労者・優良団体表彰、オープニングセレモニーの地元小学校の金管バンドの素晴らしい演技に拍手を送りました。

午後からは20の種目別交歓会が、市内8会場に分かれ行われました。ディスコン会場は総合体育館2階多目的室でした。会場設営は川口支部の8名が担当し、コンパクトな会場に合わせ3.5m×8mのコート一面と、埼玉県ディスコン協会の横断幕掲出を午前中に完了し、午後の交歓会に備えました。

当日の大会全体の参加者は、県内各地から2千人超となり駐車場も満杯になるなど大盛況でしたが、民謡・フォークダンスなど、それぞれ目的を



持つての参加者が多くみられました。この為、前々回の戸田大会での経験を活かし、川口支部としては、昼食時などを利用しての参加者募集の積極的なロビー活動に努めました。



競技体験は、来場順に3名単位で即席のチームを編成し、控え席で配布したパンフレットと先行チームの競技を見る方式としました。交歓会用に簡単なルールにしたこともあり、初めての方にもすぐ慣れて競技に熱中し、好プレーには拍手や歓声が上がり、大いに楽しんで頂けたと思います。会場の外にまで響いた歓声で、新たな体験者が参加されるなどの効果もあり、他の会場を上回るアットホームな中で、約2時間ほぼ途切れることなく約70名の来場者がありました。

また、一般来場者の他に、県レク協会長、三郷市レク協会長、来年度開催の入間市関係者などの視察者も多く、これらの対応は主に山田会長が当たられました。

体験した方からは「難しいけれど、面白い」「駆け引きもあり楽しい」などの声も聞かれ、数回繰り返して体験する方もあり、大盛況のうち交歓会を終えることが出来、スタッフ一同やりがいのある一日でした。

川口支部としては、9月末に行われた参加団体説明会での事前情報の収集と、会場の下見の重要性を再認識するとともに、当日の会場設営・運営などのお手伝いをさせて頂きましたが、他種目参加団体との積極的な交流を通じ、ディスコンというニュースポーツを知って頂けた良い機会であったと感じました。



インストラクター認定研修を受講して

所沢市宮本町町内会 三澤 道男

所沢市宮本町は旧鎌倉街道沿いの宿場町として栄え、現在3,200人が居住しており、町内には所沢の総鎮守神明社が在ります。先日、天声人語で、「寺院や神社の近所で育った人は、人を信頼し恩を返したいと考える傾向が強い。それが幸福感や健康にもよい影響を与える。神社は地域社会の拠点で子供会行事や清掃、盆踊りなどが盛んだ。親切には親切で報い、労をいとわず人助けをしようという志向が住民に見られる。」と有りました。特にこの志向を目標に我々町内会役員は諸活動に取り組んで居ます。



当町内も高齢者が増加傾向に有る事から、会員に生き活きとした生活を送って欲しいとの趣旨で、高齢者の方々が神明社の参道沿いに在る町内会館に、足を運んで頂くよう、町内会主催・長生クラブ協賛でディスコン競技会を定期開催する事になりました。

会場は畳の部屋ですが、十分に楽しめます。

昨年7月中旬、所沢市福祉会館で第20回インストラクター認定研修会が開催され、当町内会では役員松本、三澤の2名が参加しました。研修は競技全般の解説に続き、受講者9名の3チーム対抗戦を通じて、審判の判定、試合の運営方法を体得し、更に講演で上智大池田講師のフィットネスダンスも体験しました。終盤は審査試験です。磯副会長による試合の合い間でのルールや審判についての丁寧な解説が参考になり、9名全員が無事合格致しました。

一日みっちりの各講師からの心のこもった講義により、お陰様でディスコンの概要が把握出来、町内試合を行える確信を得ました。

昨年9月から、町内会館にて月1回ディスコン競技を始めました。初回から25名が参加し、評判は上々でナイスプレーや奇想天外な結果の際は歓声が沸き、93歳の方から月2回実施の要望も有る程です。

今後もディスコンを有効なツールとして、和気あいあいの町内活動を行っていきます。

所沢市障害者週間共生イベント“ディスコン体験会”の報告

埼玉県ディスコン協会 事務局長 松本 元伸

主催者である所沢市障害福祉課との3回の協議（8月、10月、11月）を経て、平成29年12月4日（月）10:00～15:00、所沢市こどもと福祉の未来館・体育館にてディスコン体験会を実施しました。当日は、市からの要請により当協会からインストラクターを4名派遣し、障害福祉課の職員さん4名と共に運営に当たりました。

ディスコンのコートは、練習用1面を含め4面（5m×7m）を設置し、ディスコンの横断幕も取り付け準備を整えました。

午前中の2時間は、予め主催者から参加要請済みの① 知的障害者施設（はばたき、キャンパスの2か所）から利用者8名、職員3名、② 市の高齢者施設（とみおか荘、とめの里）から利用者9名、③ 保育園（市立新所沢保育園）から児童36名、保育士5名、総勢61名の参加者が集まりました。

午前中は、① 開会式 ② ディスコンの説明（コート、用具を使用）③ 練習（全員でコート4面にて）④ 試合体験（コート3面を使用、各コートに2チーム配置し、時間制20分間・点数上限なしで試合を体験。1試合毎にチーム編成を変えて3回実施。）にて進行しました。また、危険防止に配慮して試合参加者の待機場所を投盤ゾーンの後方に設置しました。チーム編成は、1チーム4～5名とし、世代等が異なる上記① ② ③ の参加者が同じチームの中に混ざり合う形で行いました。



この様な混成チームでのディスコン試合は、我々インストラクターにとって初めての体験で

したが、高齢者の中のディスコン経験者や付添いの職員さんが上手にサポートして頂いたお蔭で、初体験の方々にもディスコンを大いに楽しんで頂けたと思います。11時頃に退出を余儀なくされた保育園児達からは、「もっとやりたい！帰りたくない！」との叫びが聞こえました。

ディスコンは、世代間交流の有効なツールとして評価されていますが、このイベントのタイトルである『共生』が文字通り実現できたと強く感じました。

午後の2時間は、来館者を対象に呼び込み・自由参加としました。動員にはやや苦慮しましたが、約10名の参加者による中身の濃い体験会となりました。

最後に、このイベントを企画して頂いた所沢市障害福祉課に感謝申し上げ報告といたします。

支部便り

2017年をふりかえって

さいたま支部 村田 孝子

ディスコンさいたま支部では、定例のように浦和駅前パルコ10階コミュニティセンター及び武蔵浦和7階のサポートセンターの会場をお借りして、毎月ディスコン教室を開催し、多数の方に参加していただいています。その他には、毎月ボランティア活動として各種施設でのディスコン教室、また受託活動として小学校や特殊施設学級などで開催されるディスコン教室等、それぞれ開催する場所に指導員として多数の会員の方が出向いて指導に当たっています。また、年間を通じて本部の方々のご指導の下に催されます様々な大会にも参加させていただきます。

今年は、夏の栃木県日光で親睦大会が開催され、秋の埼玉県上尾市での県オープン大会には、遠方にも関わらず県外から多数の方々の参加もあり、盛大に催されました。

特に思い出に残っているのは、日本中の夏の人気テレビ番組「24時間テレビ・愛は地球を救う」のイベントにディスコン教室が採り入れられて、地元の議員さんがディスコンゲームに、喜んで参加して下さったことです。



24時間テレビの時の集合写真

また、さいたま支部の有志により、川口・長瀬・上尾・狭山ヶ丘等各地域で行っている教室に参加させていただき、いずこからも暖かく歓迎され、一緒に楽しくゲームをして下さったことが、楽しい思い出です。また各地域により、同じゲームでもいろんなやり方があることが新発見でした。

今年度もまだまだ多数の行事がとり行われる予定があると思いますが、会員の皆様方、十分にお体に気を付けてディスコンを愉しまれることを願っています。

最後に、さいたま支部で愛唱している歌をご紹介します。各支部でも唄ってみて下さい。

4、	3、	2、	1、	ディスコンさいたま支部の歌 「青い山脈調で」
ゲームが進んで 盛り上がり 大きな拍手と 笑い声 買っても負けても ほがらかに 今日はたのしい ディスコン	赤いディスクを投げました ポイント飛ばそうと投げました 青いディスクが邪魔をして はじけない それでもたのしい ディスコン	自然とチカラが入ります ポイントめがけて投げました 右や左へ行ってしま 近寄らない だけどたのしい ディスコン	雨が降ります 風も吹く それでもディスコンやれますヨ お金もかからず 手軽なゲーム 健康で とてもたのしい ディスコン	

所沢支部活動の現状と今後について

所沢支部長 磯 竹栄

2011年5月所沢支部設立以来、6年8か月が経過し、今や活動が軌道に乗ってきました。主な活動は下記の通りです。



- ① 毎月の体験教室（定例会）では、新所沢公民館やこどもと福祉の未来館、および所沢市並木公民館（ふれあい会）、松井公民館（ひまわり）、三ヶ島公民館（さわやか会）の活動が定着してきました。その他、愛好のサークルとして、吾妻公民館、新所沢東公民館、中新井公民館等で活動しています。
- ② 委託活動・用具貸出では、家庭教育学級父兄会、公民館イベント、イチョウキッズわんぱく広場、高齢者施設「うしぬま荘」や「緑寿荘」の委託を受ける等の活動を行っています。
- ③ 支部内大会・インストラクタースキルアップ研修では、第1回新年ディスコン大会（2017年1月・34名）、第2回ディスコン大会（2017年8月・33名）インストラクタースキルアップ研修（28名）が行われています。
- ④ 今後の活動としては、現状の活動を定着させ、地域の皆さんに簡単に参加できる体制、啓発を図っていきたい。また、支部内の地区対抗戦を実施し、技術的な向上を図りつつ、地域に定着した活動を展開していきたいと思っています。

横瀬支部の活動状況

横瀬支部長 浅見 健一

横瀬支部は、四方を山に囲まれ秩父のシンボルである武甲山（写真）の麓に位置しており、今年ユネスコ無形文化遺産に登録され、12月3日に行われる秩父夜祭りは、男神龍神様と秩父神社の女神妙見様とのランデブーの祭典であります。武甲山には男神龍神様が祀られていて、信仰の山と同時にセメント原材料である石灰岩の山として、秩父全体の経済をも支えています。冬には秩父特有の底冷えの寒さで、以前ですとお客さんはほとんど来られませんでした。5年前より芦ヶ久保地区で氷柱という観光客を誘致する事業が始まり、ここ最近では4万人以上のお客さんが来られるようになり、アニメの聖地とパワースポットと重なり、年間を通して秩父地域の観光地として日の目を見ています。



前置きが長くなりましたが、当支部は県大会の成績上位で表彰の常連であったものの、今回は残念ながら4位という結果でした。年度初めには会員による新春大会を開催、また6月には長瀨支部との交流試合を通して親睦を図っています。8月にはニュースポーツセミナー in 小鹿野に参加し、ディスコンに関心を持っていただきました。

今後の課題としては、町内の会員の普及活動を如何に行うかです。おかげさまで当支部は練習場所に恵まれ、西武秩父線芦ヶ久保駅より歩いて数分の芦ヶ久保活性化センターを拠点に、毎週木曜日の

練習会と月2回の日曜日に定例会を開催しています。御年88歳の会員を先頭に県大会1位の奪還を目指して頑張っております。

創立10周年を祝して

入間支部長 今井 溥

埼玉県ディスコン協会10周年を迎えるに当たり、入間支部としては本部及び各支部の皆様と共に10周年の喜びを分かち合えることは感謝感激の至りです。

創立以来、様々な苦難を乗り越えて本協会の発展のためにご尽力され、10年の基礎を築き上げて下さった初代磯会長を初め、役員皆様の献身的な活躍に対し感謝と御礼を申し上げます。

ディスコン競技はスポーツ・レクリエーションです。最も重要なポイントは相手と「同じ考えを共有する」コミュニケーション能力です。コミュニケーション能力があることで高齢者や子どもなどの対象者と信頼関係を結ぶことができます。それらの対象者が自主的、主体的にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことを通して、心と身体が元気になり健康を高めることとなります。スポーツ・レクリエーション活動の楽しさには、達成感からもたらされる楽しさと、仲間と共に行うことでもたらされる楽しさがあり、どのような成功をすることで達成感が得られるのか？どのような仲間とのかかわりがあることで共に行う楽しさを感じられるのか？ということをしっかり理解することが、指導者には必要と思われま

す。10周年を契機として、県本部役員と支部役員の連帯・協調の絆を結び、伝統と実績を生かし新たな時代に羽ばたく協会づくりを目指して、更なるご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

川口支部発足を振り返って

川口支部長 伊藤 はま子

埼玉県ディスコン協会発足10周年おめでとうございます。

川口支部は発足後3年9か月を経過、協会支部としては5番目の支部加入、その後県レク協会にも加入する事が出来ました。多くの会員の皆様方の支援があり、今日に至った事に感謝申し上げます。

川口支部設立以前は、初代元柏支部長が長年に亘り、川口駅前行政センターの狭い一室でコツコツと練習会を継続し、地域にニュースポーツ・ディスコンを広めて来られました。この楽しいスポーツに興味を示した仲間たちの思いが、支部発足に繋がったと思っています。

県本部から支部として認められる為には、発足記念大会の開催が必要との情報に、準備期間が少ない中で慌しく大会準備等に苦慮した事が昨日のように思い出されます。設立記念大会開催への知識等の「い・ろ・は」も無く、横瀬支部長の町田氏にお教えを受けながら夢中で準備作業を乗り越えたエネルギーは、ディスコンの楽しさに魅了され、『どうしても支部を立ち上げたい』その一心と、ディスコン大好き仲間が居たからこそと今でも思います。無知が成せる業とも云えるでしょう。

近年は他団体からも講師や出前ボランティア指導の依頼を受けるようになりました。課題はニュースポーツ・ディスコンの楽しさを広め、練習会への勧誘と会員加入増です。

今後は技術・マナー向上に向け、他支部との交流や県主催のイベントへの積極的な参加等、皆で盛り立てて行けるようお互いが協力出来る環境づくりに努めていきたいと思

☆☆☆ 川口支部会員の一言 ☆☆☆

- ・開催場所があれば手軽でこれ程楽しいスポーツはない。このスポーツは奥が深くハマル。市民に広めたい。(Sさん)

【創刊号】支部便り

- ・練習日に参加出来る時は大いに楽しみたい。(Aさん)
- ・練習会場の歓声を聞き、覗き見の方もあり。年齢に関係なく、皆が元気になれるスポーツです。(Yさん)
- ・練習回数を重ねる毎に上手になるのが楽しみです。(Kさん)
- ・入会したばかりで月2回程度の参加ですが、練習は楽しいので出来るだけ参加して上手になりたい。(T・Kさん)

長瀬町ディスコン便り

長瀬支部長 高田 純子

埼玉県ディスコン協会10周年おめでとうございます。

私たち長瀬支部は、御蔭様で発足してから2年4か月が経ち、会員も28名となりました。

練習日は毎週木曜日の9時から12時まで、長瀬町の中央公民館体育館で行っております。

「ディスコンは、いつでも、だれでも、すぐに出来る」を合言葉に、見学者の人たちにも「やってみない」と友達が友達を誘い会い、チームに入って頂いております。ルールを教えながら楽しんで覚えてもらい、少しでも上手に出来たら誉めてあげ、自信を持って頂き次回参加したいと思える様に声掛けをしながらみんなで協力し合っています。出席率は高く毎週7チームで2コートを作り、仲間の方々と顔合わせて、笑顔で会話ができる事によって、認知症の予防にもなるので、感謝しながら楽しんでいきます。

10月に行われた10周年の埼玉県ディスコン・オープン大会では、思いがけずに参加32チーム中3位となり、みんなで喜びあいました。

これも皆様方のご指導のおかげと思っております。少しずつではありますが、上達していき

たいと思いますので、今後とも長瀬支部を宜しくお願い致します。



編集後記

埼玉県ディスコン協会 副会長 塩野谷 守夫

「ディスコン通信・彩の国」創刊号発行に当たり、各方面の方々から原稿をお寄せいただき感謝いたします。平成19年10月に設立された当協会も10周年を迎えましたが、磯初代会長の発足当時の記事を拝見し、当時の思いを感じます。現在6つの支部ができていますが、今後益々組織が拡大発展するような予感がいたします。これからも山田会長のもと、私たち役員が丸となり、埼玉県ディスコン協会のより良い発展のために努力してまいります。皆様のお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

発行責任者：埼玉県ディスコン協会 会長 山田 武 Tel：04-2942-3746

URL：<http://www.saitama-discon.jp/>